



居宅介護支援事業所

介護屋みらい

介護の「みらい」よもやま話



代表取締役社長／
宮崎直樹



デイサービスに通う楽しみがあり、その楽しみを継続するために一生懸命リハビリに取り組んでいます

船橋市内のデイサービス事情③ 事業所の選択と利用者の声

皆さま、こんにちは。5月号と6月号にてデイサービスのご説明をさせて頂きました。今回はデイサービスを長年ご利用されている方のご紹介をさせて頂きます。

今回は、介護保険制度の中でも事業所ごとに支援内容が非常に異なる事業なので、ご自身に合った事業所選びが大切であるとお伝えさせて頂きました。今回ご紹介させて頂く方は事業所選びに成功して、さらにご自身の努力もあって健康を維持されている方です。ご本人様やご家族様は顔や名前の掲載を了承して頂きましたが、今回はS様とさせて頂きたく思います。S様が介護保険を受けるようになったのは、平成19年5月末からです。9年前から介護保険で通所介護を利用されており、健康を維持されています。ご自身が抱えているご病気は、難病指定も受けているパーキンソン病です。

原因は脳の神経細胞の変性によると言われていました。症状としては、4大症状と呼ばれる大きな特徴があり、ふるえ(振戦)こわばり(筋固縮)動作の緩慢現象(無動)すくみ足(起立姿勢反射障害)歩行障害)で、転倒などに非常に注意が必要な病気です。S様は19年からこの病と闘いながら、日常生活を営んでいます。病気に打ち勝ち、状態の維持、低下防止の一助となっているのが、デイサービスです。利用開始時は要支援1でご自身でも散歩を1日1万歩程度されていたとのことで、デイサービスの参加は週1回からでした。月日が経ち、デイサービスに参加することが楽しくなり運動目的で参加されていました。今ではデイサービスで知り合った仲間と時折ですがカラオケに行かれています。9年も参加すると一番の古株ですし、ケアマネジャーも何人か変更になっっています。自分(宮崎)は9年前はケアマネジャーではありませんでした。現在のS様は週4回のデイサービスに参加して自宅で

リハビリも受けています。

数か月前に屋内で転倒されて1か月デイサービスに参加できない時期がありました。懸命なリハビリとデイサービスに通いたいという強い気持ちでドンドンお元気になられました。転倒直後はこのまま寝たきりになる可能性もあり非常に心配される状態でしたが、みんなの所に帰りたいという気持ちにはリハビリの後押しをしたと思います。

これもご自身にあったデイサービスを選び、楽しみを見つけて、みんなに会いたいと思う気持ちが健康でいられる秘訣なんだとS様から学ばせて頂きました。



居宅介護支援事業所
介護屋みらい

住 船橋市薬台4・16・4・202
047(404)2660

介護屋みらい vol.10 STAFF 紹介



名前: 西響子
趣味: 登山・キャンプ
ケアマネ歴: 1年目

経歴 大学卒業後、グループホームに5年勤務。その間、介護福祉士と介護支援専門員を取得し、H28.1~介護屋みらいに転職する。

この仕事を目指したきっかけ もともとおばあちゃん子だったこともあり、自然に福祉や介護の道に興味を持ち楽しいと感じました。自分でもなにか人の役に立てることを探しているうちにここに辿り着きました。

ひとこと 発見・勉強の毎日です。一日一日を大事に感謝して、なにより笑って楽しく過ごしていきたいです。まだまだ未熟ですが、いつかは一人前のケアマネジャーになってみなさんに笑顔と安心を届けられるように頑張ります。よろしくお願いします。

介護のこと、
研修のこと、
子育てのこと・・・
などなど
日々のことを
ブログでUP
しています。

アメブロ宮崎直樹